



西ノ島町観光協会

直近のイベント 隠岐の4島を回って隠岐の良さを再発見しましょう！

行 事 名	日 時	場 所
豪華客船「飛鳥Ⅱ」寄港	7月17日(木)	西ノ島町(浦郷港)
焼火神社例大祭(夜:神事、神楽)	7月23日(水)	西ノ島町(焼火山)
久見神楽	7月25日(金)	隠岐の島町(久見地区)
ござらっしゃい!「西ノ島マルシェ」	7月25日(金)~26日(土)	西ノ島町(別府港)
一宮神社例大祭	7月27日(日)	知夫村(郡)
御碕神社祭礼(宇屋だんじり舞風流)	7月28日(月)	隠岐の島町(御碕神社周辺)

西ノ島観光カレンダーを作ります! 2015年版西ノ島観光カレンダーで使用する写真を募集しています。西ノ島で撮影された写真であることが応募の条件です。詳しい内容については、観光協会へお問い合わせください。7月にタブレットで詳しい内容をお知らせします。写真データの送り先は kuniga@nkk-oki.com です。

バスガイドが地質について勉強しました!

春は秋はバスガイドや町歩きガイドがとて忙しいです。毎日のように団体や少人数のグループに島を案内して、西ノ島のファンが増えていると思います。6月2日(月)にガイドクラブのミーティングで初夏の花、豆知識などについて勉強しました。そして6月10日(火)に隠岐の地質に詳しい山内先生を講師に招いて、バスで島を周って島前カルデラ、摩天崖、通天橋のでき方について楽しく学びました。バスで案内をする時、もっと分かりやすい説明で隠岐の地質の不思議を伝えられるように、頑張つて勉強しています。次の勉強会は7月14日(月)13:30~15:30で、場所は別府港フェリー第2ターミナルです。興味のある方は、観光協会の江崎までご連絡ください。



焼火山に登ってきました!

6月8日(日)に国立公園レンジャーの中新さんと前川さんと、講師の深谷さん(海士町・隠岐しぜんむら)と一緒に焼火山の動植物の不思議を観察しながら、頂上へ登りました。参加した10名はカメラ好き、自然好き、ハイキング好きの方で、焼火山の独自の生態系に驚いていました。社務所でお弁当を食べ、その後、松浦宮司さんに焼火山の歴史文化についての説明や、拝殿の中を案内して頂きました。島の生態系と人の営みのつながりを見つける良い機会でした。



西ノ島ふしぎ発見 32

~隠岐世界ジオパーク推進協議会の角市久美子さんと国賀海岸について話しました

- ニコラ** 角市さん、隠岐島後へ異動になって、世界ジオパークの仕事はもうですか？
- 角市** 隠岐4島の良さが分かってきて、西ノ島の素晴らしさを再発見しています。面白いですよ！
- ニコラ** 良かったですね。お互いの島を知ることが重要ですね。西ノ島のどこが好きですか？
- 角市** 海から見た国賀海岸が印象的です。最近フランスから来た記者さんと一緒に観光船に乗りました。その記者は摩天崖のスケールに驚き、明暗の岩屋から自然のパワーを感じたようです。「ここは日本の不思議なところ！世界ジオパーク、最高！」と言われて嬉しかったです。
- ニコラ** 隠岐・西ノ島に住んでいる人や帰省する人も、ぜひ観光船に乗ってほしいですね。
- 角市** そうですね。国賀海岸で不思議な発見が待っているといます。



観光船時刻表料金表	4月1日~10月30日
別府港発(浦郷港着)	10:15~、13:00~ (130分) 大人3300円、小人1650円
浦郷港発(浦郷港着)	13:10~、15:10~ (90分) 大人2300円、小人1150円
7月16日~8月31日	
浦郷港発着	8:30~、10:40~ (90分) 大人2300円、小人1150円



海を越えてつながる西ノ島とロシアの人々



5月28日から29日にかけて、ロシア沿海地方から青少年交流訪問団14名(大人2名、11歳〜17歳の子どもたち12名)の皆さんが来島しました。

本町とロシアの交流は、日露戦争終結100年目にあたる2005年に町内の民間グループ(ひめぼたるの会代表 佐倉 眞喜子さん)が史実の勉強会を開催したことがきっかけとなり、今でも子どもたちの絵画などを通して交流を続けておられます。

28日は西ノ島小学校を訪問し、町内の民間グループ(じょんじょん 代表 平木奈奈枝さん)の指導によるヒオウギ貝の絵付け体験や、お互いの国の音楽や踊りを体験し、和やかな雰囲気の中で交流を深めました。

その後、船越地区にあるロシア兵の墓を訪れ、日露戦争によるロシア兵の漂着と埋葬という隠岐の先人の史実に触れ、献花が行われました。一行が帰路につきかけた際、長年、墓を管理されておられ、ご自身もロシアに抑留された体験を持つ玉木武雄さん(船越)が偶然にも墓地を訪れて来られました。玉木さんの国境を越えた人間愛に対し、訪問団からは自然と「ありがとう」

と日本語でお礼の言葉がこぼれました。

ホテルでは、抹茶や和菓子でのおもてなしの後、交流会でじょんじょん太鼓の迫力のある演技や訪問団からの踊りが披露され、一緒に食事を囲みながら楽しく盛り上がりました。

翌29日、訪問団の皆さんは赤尾・摩天崖で牛馬と触れ合い、美しい眺めを楽しんだ後、国賀海岸でスケッチをされ、世界ジオパークに認定された隠岐の雄大な自然に感動されていました。

訪問団の皆さんは2日間を通して、民間グループの方々の温かいおもてなしに大変喜んでおられました。今回の交流が、草の根レベルの交流を大きな輪へ広げる第一歩となることを願います。

ご協力をいただいた皆様に感謝します。ありがとうございました。



★ふるさと子ども体験隊・自然観察会★



5月》 春の自然をみつけよう! & さかなつりをたのしもう!

中央公民館では5月10日に、児童・保護者・ボランティア・一般の方を含め、計22名で“自然観察会”にでかけました。口村光房さんの案内のもと大山まで行き、熊谷草(クマガイソウ)の花を見ました。また、葉の中央部に花がさく、花筏(ハナイカダ)や、独特の香りがするドクダミの野草などを見つけ、子どもたちはたくさん採取しました。次に、美田ダムでヨモギやイワガラミという野草を摘み、帰り道には、西ノ島大橋でクズを見つけました。そして、野草を天ぷらにして食べてみました! 予想以上のおいしさに、みんな感激しました!



5月31日には、児童・保護者・ボランティアの方を含め計23名で、口村さんの指導のもと、昔ながらの竹竿を使い、浦の谷の波止場で“魚釣り”を楽しみました。まるで初夏を思わせるような暑い天気でしたが、子どもたちは釣りに夢中で、船からも釣りをさせていただきました。

ふるさと子ども体験隊では、小学生を対象に自然や食文化などをテーマに、ふるさとの良さを体験できるような活動を計画しています。ぜひ子ども達と一緒に参加してください! おじいちゃん、おばあちゃんの参加もお待ちしております。

教育課

